

手代木直美国際副審講演会 実施報告書

実 施 日 2019 年 9 月 15 日(日)

【実 演】

大会名 道東ブロックリーグ第9節(マッチ NO. 27) 12 時キックオフ
試合 別海 BOSFC VS 蹴鞠会
結果 1 : 1 1 (0 : 7) (1 : 4)
場所 別海町営陸上競技場
割 当 主審：手代木直美(女子1級)
副審：藤本 哉(2級)、副審：勝瀬雅彦(2級)、4th:村山尚哉(2級)

～対戦～

残り2節の道東ブロックリーグ、5位の別海 BOSFC と2位蹴鞠会の一戦。

～試合前～

試合開始90分前よりフィールドチェック、60分前よりマッチミーティング。

副審との審判打合せでは、①オフサイド、②ゴール前付近でのファール対応、③、④・・・の順番で、特に伝えたいことから優先的に打合せを行っていた。

ウォーミングアップでは審判員全員で行った後、単独でサイドステップやもも上げ、ショートダッシュ等を取り入れた動きを念入りに行っていた。

～試合～

蹴鞠会のボールポゼッション率が高く、点数も大きく開いた試合内容だったが、争点の予期予測が早く、スプリントの速さが印象的だった。特に、争点を見極めるための角度が良く、サイド・バックステップを積極的に取入れ、判定の説得力があり選手も納得していた。

【講演会】

内 容 『審判活動から得たもの』～世界での経験～
時 間 19 時～20 時半
場 所 中標津町総合文化会館
参加人数 51 名

根室地区サッカー協会役員、審判員、指導者、選手、サッカー未経験者、地区外参加等合わせて総勢51名の参加者のなか、楠瀬会長の開会挨拶後に講演会は開催されました。

現役国際副審の講演会とあって、参加者の視線も熱いものがありました。

1. 自己紹介
2. 審判員の準備
3. 世界大会に参加して
4. 夢を叶えるために

4つの構成で講演していただきました。

1. 自己紹介

自分のこれまでの審判人生を語ってくれました。

サッカー部だった高校時代に、顧問から勧められ審判資格を3級まで取得。

ユース世代への種蒔きが、世界で活躍する審判員を創出ことに繋がるのだと改めて感じました。

2. 審判員の準備

フィジカルトレーニング、プラクティカルトレーニング、フィードバック、マッサージと、いつアポイントがあっても良いように準備している。

世界大会では、語学力(英語)も重要となっている。

3. 世界大会に参加して

大抜擢されたカナダワールドカップでは、国際経験も無く自信が無かった。だけどそれでは、「選手に失礼、今の自分を受入れる」「失敗を恐れずチャレンジあるのみ」と奮起し、ミスも無く選手のために全力を尽くせた。

- ・ミスの数だけ成長できる!!
- ・ミスを恐れずにチャレンジを続ける!!
- ・ミスを繰り返さないための分析!!
- ・自分に正直であれば必ず成長できる

たくさんのミスをして・・・

「ミスはミスした現場でしか取り返せない。信頼を取り戻すのも現場から」

3大会通して感じること

(Women's World Cup 2015 CANADA、Rio de Janeiro Olympic 2016、Women's World Cup 2019 FRANCE)

- ・自信が持てる準備
- ・勇気を持った挑戦
- ・継続することの大切さ
- ・信頼されることの大切さ

フランスワールドカップでの担当試合を映像で観ながら、分かりやすく解説頂きました。

4. 夢を叶えるために

夢を叶えるためのスキルを身に付ける。

⇒夢のための努力はできるもの、夢を支えるための努力はしなくてはいけないもの

【審判活動するために】

まず職場の環境・信頼を得ることに取組んだ。患者さんからの信頼、応援したいと思える存在になるために。札幌の職場だったが、業務のスキルを上げるため毎月自費で東京へ行き、資格を取得した。

【長く続けていれば】

辞めるのは簡単だけど続けるのは難しい。難しい道を選んだ方が人は成長できる。

【これからも続くチャンスのために】

- ・次の人のためになるのなら
- ・誰かのためになるのなら
- ・女性のためになるのなら

⇒犠牲があっても頑張れる

【男子の世界での活動】

- ・道を開くのは難しいが、後にくるのは簡単
- ・誰かが歩けばその道は開かれる、信頼を失えばその道は閉ざされる

最後の質疑応答ではメンタルバランスの悩みや、現役女子審判員の実際に現場で悩んでいる事、副審が実際に現場で行っている事などへの質問が飛び交い、一つひとつ丁寧に答えて頂きました。現役国際審判員の回答に審判員たちも満足した面持ちでした。

この講演会開催にあたり、様々な協力を頂いた皆様に感謝と御礼を込めて講演会の報告と致します。

【報告者】 根室地区サッカー協会審判委員会委員長 茂木直矢





(令和元年9月19日北海道新聞掲載)